

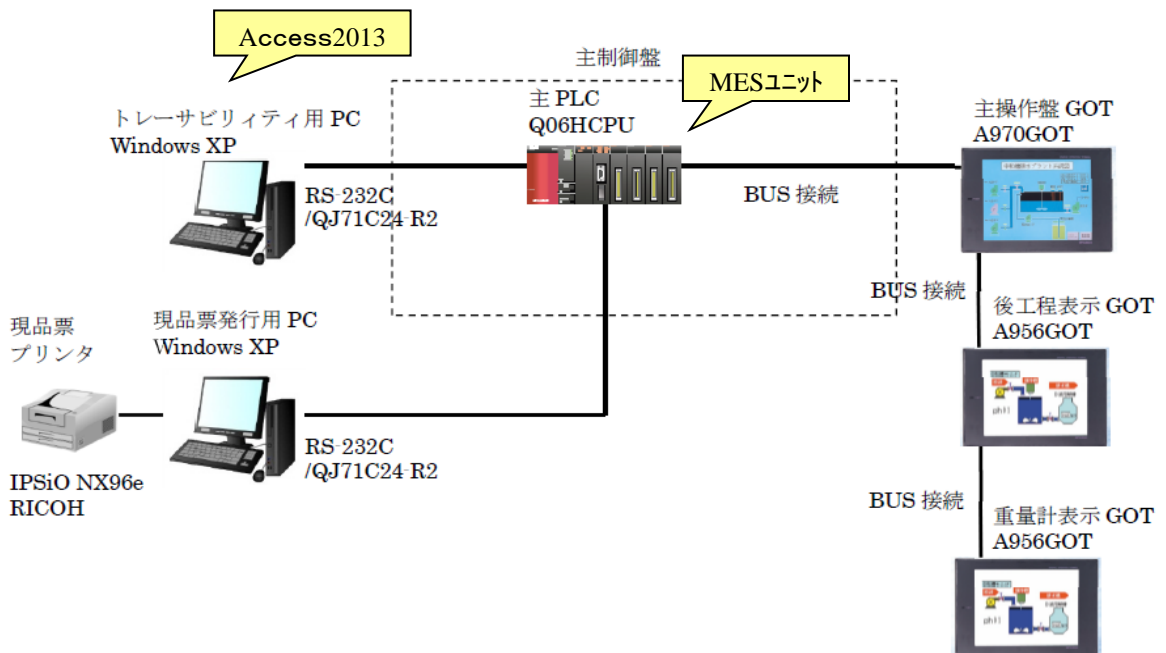
- 自動車部品検査ラインの検査データをMESユニットを使用して、即時にデータベースへ保存します。(検査データは平均して5秒間隔で発生)
- 検査工程毎に、品種No.、ロットNo.、シリアルNo.をキーとして、検査結果を時系列表示する事により、部品の検査状況の把握がリアルタイムに行えるようになりました。

## Point !

もともとプログラムでシーケンサからデータを受信し、データベースへ保存していましたが、開発者の異動によりメンテナンスができなくなっていたシステムにおいてプログラムレス化を図りユーザーフレンドリーなシステムに再生しました。

- ① 信頼性 MESユニットのDBバッファリング機能により通信ダウン時もCFカードに保存。
- ② 保守性 プログラムレス化により、OSバージョンアップに対するプログラム改造が不要。
- ③ 拡張性 ACCESSのクエリー設定やレポート設定で各種の検索や管理帳票が自由に追加可能。

また、同様の検査ラインが複数存在するので、システムの標準化（特にデータベース構造）を図り順次、本システムに切替ができる設計としています。



## 補足機能

アラーム収集は表示器のCFカードに保存していましたが、古い表示器のためFTP機能が無く定期的にカードを回収していました。MESユニットでも並行してアラーム収集する事で、この回収作業の手間を省きました。